

令和 6 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立佃西小学校協議会

1 総括についての評価

本年度の学校の自己評価結果は妥当である。調査やアンケートの結果も目標を達成しているものもあれば、下回っているものもあった。達成できなかった分については、今後数値が向上するように取り組むとともに、上回っている項目に関しては、継続していく。

2 年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標：安全・安心な教育の推進

- ①小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことがありますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 82 %以上にする。
- ②年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- ③年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
 - ・学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を 100%にする。
 - ・不登校について、関係諸機関と連携しながら組織的に対応し、心の居場所づくりや安心して通学できる学級づくりなど、不登校児童に対するきめ細かな対応に努める。

評価は妥当である。不登校については、多くの教員や関係諸機関とこれまで以上に連携する必要があり、チームで対応できるようにする。

年度目標：未来を切り拓く学力・体力の向上

- ①小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 39 %以上にする。
- ②小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より向上させる。
- ③小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 74.8 %以上にする。
- ④小学校学力経年調査における「外国語（英語）の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80 %以上にする。
- ⑤小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 67 %以上にする。
 - ・小学校学力経年調査の標準化得点をすべての学年において前年度より 0.02 ポイント向上させる。

評価は妥当である。経年調査の標準化得点は昨年度よりも向上した学年も多く、今後も質の高い授業を展開していく。運動に対して肯定的な意見をもつ児童が多く、その気持ちが持続するよう、楽しい体育科の授業を実践していく必要がある。

年度目標：学びを支える教育環境の充実

- ①小学校学力経年調査における「コンピュータを使って、写真や図を用いたスライドを作ることができますか」の項目について、肯定的な回答をする児童の割合を 85 %以上にする。
- ②月 45 時間・念 360 時間を超える教職員を 0 にする。
 - ・オンライン学習の環境を充実させる。長期欠席児童や出席停止児童に対して学級の児童と同じ学習ができる環境を整える。

評価は妥当である。ICT 機器の活用については、実践できているので、今後も継続していく。働

き方改革については、授業時数の見直し等も図り、さらに進めていく。

3 今後の学校園の運営についての意見

- ・現在できていることは引き続き継続して取り組んでいく。課題となった点については、ちがつたアプローチを試みて、解決できるように取り組む。
- ・統合の可能性もあるので、その点も意識しながら近隣小学校と連携しながら教育活動を進めていく。